



学校だより

令和5年度 第6号

令和5年10月4日

本日は、前期の「終業式」。子どもたちが通知表「あゆみ」を持ち帰ります。本人はもちろん「親」として通知表を渡されるのもドキドキするのではありませんか。今月は「あゆみ」を子どもたちとの「会話ツール」として、彼らの成長につなげていくコツをお知らせします。

「評価」は学校生活の一部分 ～通知表のとらえ方～

子どもたちの「学び」は授業だけではなく、さまざまな学校行事、給食や清掃、係活動なども大切な「学び」です。友達との意見の食い違いやけんかさえ、貴重な「学び」なのです。学習成績はあくまでも学校生活の一部分にすぎません。

「○△□係ってどんなことするの？」～ここから対話を始めてみましょう～

「あゆみ」の「■特別活動の記録」を見てください。クラスによってはユニークな名前がついた係があります。「○△□係ってどんなことするの?」「誰と一緒にやっているの?」と子どもたちに聞いてみてください。対話はここから始めてみましょう。

「ここが○なの、うれしいな」～よかったところに目を向ける～

次に「行動の状況」を見てください。「○」のついている部分は、どのようなことが評価されているのか説明してあげてください。わが子についてその「○」が親として「うれしい」と気持ちを伝えることもお忘れなく。行動や言動にこそ、人としての価値があるものと親が示すことで、子どもたちはぐんと成長します。

「ここが◎なの、うれしいな」～努力の過程に目を向ける～

そうはいつでも、まず「学習の状況」をご覧になる方がほとんどでしょう。ここでのコツは～努力の過程に目を向ける～ということです。例を挙げてお伝えします。

【△な声かけの例】

「国語に全部「◎」ですごいね。算数の「△」2つは、次はもっとがんばってね」

この声かけは「評価」だけに着目していて、子どもたちの努力や頑張りに着目できていません。また、何を具体的にがんばるのか伝わらない声かけです。

【◎な声かけの例】

「国語に「◎」が付いてるのうれしいな。何度も漢字ドリルをかんばっていたものね。いつも見ていたよ。算数の三段目の欄「～数学のよさに気づき～」の評価に

「◎」が付いているね。これは頑張って授業を受けていることを、先生がちゃんと見ているからだよ。ここが「◎」なら今「○」や「△」のところも必ず伸びてくるからね。計算ドリルを繰り返したり、見直したりすればいいよ。一緒に復習してみようか？」

この声かけは「◎」を「すごい」ではなく「うれしい」と伝え、普段の本人の努力や頑張りを「みているよ」と伝えています。さらに関心や意欲が起点となり知識・技能や思考・判断が伸びていくことについて説明し、励ましているのです。

ま と め

「あゆみ」を子どもたちの成長につなげるコツは「子どもの学校生活全体に目を向けて、対話すること」「結果そのものだけではなく努力の過程を褒めること」「評価の意味をお子さんにわかりやすく噛み砕いて伝えること」です。また、お子さんに親としての「気持ち」を伝えることも忘れないでください。子どもの数だけ個性の原石はあります。好きなことや得意なことにも目を向けて、「未来の大人」たちを共に育てまいりましょう。

校長

◎通学路の確認をお願いします

「高洲コミュニティセンターの駐車場を横切って登下校をする児童がいて危険である」と近隣から情報提供がありました。お子様の通学路を今一度ご確認をお願いいたします。

